



近世人物誌

やまと新聞附録(第五)

木戸翠香院殿
 翠香院殿は故贈従二位木戸孝元公の夫人あり始の名は竹松元西京三本木の藝子なりしが文久の末の頃尊王攘夷の論天下に起り四方の浪士西京に集りしに當り屢々頼三樹三郎橋本左内等の名人を聘せられて尊攘の説を聞きしを以て慷慨として國歩の艱難を憂へおそれ妻も男子をりせむと思ひ続くる折ははくはく長藩の桂小五郎と邂逅たり桂小五郎は即ち故贈二位の旧名あり元治の亂後幕府頼り小五郎と違へを欲し追捕甚ら急きて身を遁るる小五郎は竹松深く志士の屯遣を悲し甲斐なく小五郎を其家の床下小匿し遂に追捕を免くせり維新の後贈位青雲小舟の深く竹松の志を感し之を迎へて夫人とほめて再生の徳を報ひしに逝去の後夫人髪を断り法号を附して翠香院と云ひ西京小閑居し二位の冥福を修め以て其身を終られたり



東京 京橋区 上野 三軒茶屋 住人 奥隅 欣二

翠香院殿

活圖工離

